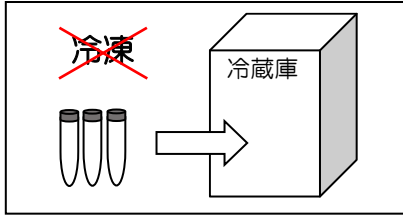
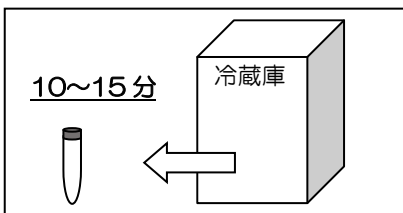

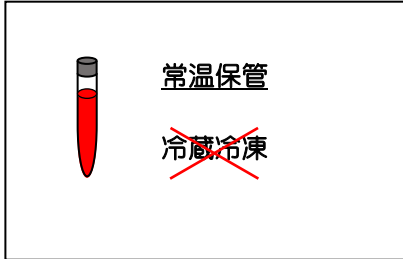


専用採血管保管および採血時注意事項

※CTC 測定専用採血管 Streck 社「Cell-Free DNA BCT®」10 mlおよび梱包資材は、ご希望の検体数分を弊社より事前にお送りいたします。

※採血管の蓋は、どの時点においても絶対に開けないでください。

◆ご使用前の保管 → 冷蔵	
	<p>ご使用前の採血管は冷蔵にて保管してください。CTC 測定専用採血管「Cell-Free DNA BCT®」は 2～30℃までの温度内で保管するよう定められています。この温度以外で保管した場合、有効期限が2週間程度まで大幅に減少しますのでご注意ください。一般の冷蔵庫内であれば概ね 5～10℃ですので、安定して保管できます。</p>
◆採血直前 → 常温に戻す	
	<p>採血前は、採血管を常温(15～30℃)に戻す必要があります。冷蔵庫から取り出した後、最低 10 分～15 分、室温に置いてください。採血直前には採血管が常温に戻ったことを必ず確認の上、採血してください。</p> <p>※冷暖房や直射日光に当たる場所、車中など、想定外の温度変化にはくれぐれもご注意ください。</p>
◆採血時	
	<ul style="list-style-type: none"> ・真空採血のガイドラインに従い、<u>空腹時に採血</u>してください。 ・採血管ラベルに氏名を必ず記入してください。 ・採血量(採血管内の試薬に対して最も適切な血液量)は原則 10 mlです。8.5～9.0 mlあれば概ね測定可能ですが、8.5 ml未満または 10 mlより多い場合や、試薬との混和が不十分な場合、凝固が発生し測定に影響を及ぼします。目安として、キャップを含めずに上から 2.8 cm 下(500 円玉1個分)のラインが 10 mlです。 ・万が一、凝固が発生しており測定不能の場合は再度採血をお願いする場合がございます。 ・<u>試薬と血液が均一に混ざるように、採血後速やかに、転倒混和をゆっくりと 10 回以上、確実に実施してください。</u>
◆採血後の保管 → 常温を保つ	
	<p>採血後の採血管は引き続き常温にて保管してください。冷蔵および冷凍保管は禁止です。がん細胞は、常温以外の高温および低温いずれにおいても非常に影響を受けやすいため、採血時から弊社への検体到着時まで、15～30℃の常温を一定に保つことが非常に重要となります。</p> <p>梱包発送方法も同様に重要となりますので、こちらについては別紙「梱包・発送方法」を必ずご確認ください。</p>